

山形県立上山明新館高等学校 平成28年度 学校評価書

学校教育目標	(1) 心身ともに健康で、豊かな情操を持つ人間を育成する。
	(2) 真理を求め、責任を重んじ、社会の変化に対応してたくましく行動できる人間を育成する。
	(3) 創造力に富み、自ら考え、主体的に学ぶ意欲と豊かな知性を持つ人間を育成する。
	(4) 国際的な視野を持ち、郷土を愛し、社会に奉仕し貢献できる人間を育成する。

目指す学校像	(1) 校訓「日々新たに、また日に新たなれ」のもと、学習活動と特別活動、地域連携ボランティア活動などから、主体的に行動できる「人間力」のある生徒を育てる。
	(2) 専門学科で学ぶ知識や体験、資格を活かして社会に貢献できる、意欲あふれる生徒を育てる。
	(3) 特別活動や地域活動に積極的に参加し、人と人とのつながりを大切にする、たくましい生徒を育てる。

＜ 評価基準 A：達成 B：概ね達成 C：やや不十分 D：不十分 ＞

領域	重点目標	評価項目・具体的目標(1～15)	H28評価	昨年度	次年度に向けた課題と改善策	学校関係者評価(平成28年度)
生徒理解	①不適応生徒への対応の充実 ②面談及び教育相談活動の充実 ③教職員の生徒理解を図る研修の充実	1. 適宜、面談を実施。生徒理解に努める。 ・学校適応指導委員会の開催 年9回 ・教育相談事業の実施 年24回 ・教職員の研修会の実施 年1回	① B ② B ③ A	① B ② A ③ B	・計画的かつ組織的な面談活動の継続 ・適応指導委員会のあり方、役割の検討 ・職員間の学校不適応生徒情報の共有 ・職員研修会の実施時期と内容の検討 ・校外の研修会への積極的参加	・授業参観をしたが、生徒が集中して学習に取り組んでおり、授業中の態度が良好である。 ・挨拶がよく、来校するたびによい印象を受ける。 ・地域での上山明新館高校への期待が大きい。近年は、よい面が目立っていて、嬉しい。 ・部活動や農業クラブの活動、情報処理の大会等での活躍を、高く評価したい。 ・進路希望の実現の状況について、国公立大学への合格者も、近年増える傾向にあり、評価したい。 ・「明新館通信」を通して、地域の住民が生徒の活躍の状況を知ることができ、地域への配布に、感謝している。発行するのはたいへんと思うが、今後ぜひ継続してほしい。 ・ボランティア活動によく取り組んでいる。活動先の施設職員や利用者は、高校生が来てくれることを喜んでいて、高校生にとっては、社会性が高まり、よい経験になる。今後も継続し、幅広く取り組んでほしい。 ・学校の外に出ると挨拶ができないという反省があった。外でも、近隣の人などに挨拶ができるように、定着させてほしい。 ・学校から出る情報が、保護者に十分には伝わっていないようである。プリントを配付するだけでなく、ホームページのいっそうの活用など、工夫してほしい。
学習指導	①学ぶ意欲の向上 ②学習習慣・基礎学力の定着 ③指導法の研究・改善 ④学習センターの利用拡大	2. 出席率99%以上 3. 授業第一の考えの徹底と家庭学習時間の確保 ・生徒による授業評価と授業改善 ・家庭学習時間調査の実施 ・教科ごとに1人以上の研究授業の実施 ・クラス一斉読書、全校一斉読書の実施 ・1人年間3冊以上の図書の貸し出し	① B ② C ③ B ④ C	① B ② C ③ B ④ B	・出席率の目標達成のための方策の検討 ・家庭学習の時間の目標の明示と家庭学習についての指導の徹底 ・他教科の研究授業や研修会等への積極的な参加により指導法の改善を図る ・小論文指導及び本に親しむ指導の工夫	
生徒指導	①品性ある行動と規範意識の向上 ②いじめの防止、早期発見、いじめに対する組織的な措置 ③特別活動の充実と自治的能力の向上 ④部活動の更なる充実・発展 ⑤地域貢献活動への積極的参加	4. 校訓の理解と実践および挨拶の日常化 5. 規範意識の向上と問題行動の減少、いじめの絶無 6. 部活動の奨励 全国高校総体等団体1、個人5人以上 全国高校総文祭等団体1、個人5人以上 7. 地域貢献活動・ボランティア活動の理解と積極的参加 ・交通マナー指導と交通街頭指導の実施 ・主体的な生徒会活動の活発化	① C ② B ③ C ④ B ⑤ B	① C ② ③ C ④ B ⑤ B	・問題行動の未然防止といじめ防止のための情報共有と全職員での取り組み ・公共マナーと交通ルール遵守の徹底 ・目標値達成に向けた部活動の奨励 ・地域貢献活動の継続と更なる推進 ・自主的・主体的な活動とリーダー育成	
進路指導	①キャリア教育の推進 ②一人ひとりの進路実現 ③進路目標の早期設定 ④組織的・機能的な指導体制の確立	8. 「キャリア教育総合実践プログラム」の実施 9. 国公立4年制大学10名以上、私立大学60名以上 10. 看護・医療系専門学校30名以上、公務員10名以上 11. 就職内定率100% ・「進路の手引き」の活用、ガイダンスの充実 ・小論文研究会の参加と情報共有及び効果的指導の実践	① B ② C ③ B ④ B	① B ② B ③ B ④ B	・新しいキャリア教育総合実践プログラム策定 ・インターンシップの継続 ・今年度は国公立4年制大学5名合格 更なる挑戦と指導法の研究 ・職員対象小論文研修会と生徒対象小論文講座の継続実施	
信頼される学校づくり	①PTA活動を通じた保護者との連携 ②外部評価の実施と活用・公開 ③情報発信による開かれた学校 ④体罰の絶無 ⑤地域関連学習の促進 ⑥積極的な研修と資質向上	12. PTA総会、PTA学年部会出席率60%以上 13. PST(保護者・生徒・教員)座談会の実施 ・学校評価アンケートの実施 14. 学校HPの毎月更新「明新館通信」や学年通信の発行 15. 魅力ある学校づくり 中学生体験入学の実施 ・地域関係機関や農家と連携した研究 ・「研修集録」の発行	① B ② B ③ A ④ A ⑤ A ⑥ B	① A ② B ③ A ④ ⑤ A ⑥ B	・60%を超えたPTA総会参加率の維持と各種PTA活動の充実 ・学校評価アンケートの有効活用 ・学級学年通信・明新館通信他、各種印刷物による保護者と地域へ情報発信 ・ボランティアを通じた魅力と活力のある学校づくりの推進 ・校内研修会の充実	

アンケート評価(回答の選択肢 a:よくあてはまる b:ややあてはまる c:あまりあてはまらない d:まったくあてはまらない e:わからない)

生徒	19項目中16項目で、高評価(肯定的評価が80%以上)であった。とりわけ、「本校に通うことは意義があるか」で92.2%、「学科・コース・科目選択に満足しているか」で92.2%と、高評価となっており、生徒は概ね本校での学校生活を肯定的に捉えていることがわかる。「いじめ防止の指導」の項目については、79.2%が肯定的評価をしているが、否定的評価をしている生徒が20.8%おり、日頃からきめ細かな指導を地道に継続していくことが肝要である。「わからないことがあるとよく質問に行く」の肯定的評価が37.9%と低く、学習への積極性を引き出し、養っていく必要がある。
保護者	16項目中9項目(「生活規律の指導方針」「進路目標達成のための努力」「部活動や生徒会活動」「学校行事の充実」「教職員の保護者への対応」「本校に通う意義」「学科、コース、科目選択の満足度」など)で、高評価(肯定的評価が80%以上)であった。本校の教育活動全般について、概ね合格点をいただいたと受け止めることができる。一方、今年度は、回答で「e わからない(状況が把握できていない)」を選んだ保護者が、全体的に多く、保護者とのコミュニケーションをきめ細かく、丁寧に図っていく必要がある。
教職員	28項目中20項目で、高評価(肯定的評価が80%以上)であった。教育活動全般において、教員が高い意識をもち、熱心な指導を行っていることの表れと捉えることができる。肯定的評価が95%を超える、「生活規律についての指導」「部活動や生徒会活動」「生徒の悩みや相談への対応」などには、本校における教育活動の強みが表れていると考えることができる。「体罰を行っていない」は、肯定的評価が100%であった。「いじめ防止のために丁寧な指導を行っている」については、肯定的評価が96.1%であり、共通理解をいっそう図りつつ、迅速で丁寧な指導を行っていく必要がある。